

令和4年度 事業報告

(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

I 概況

- 当国保組合は、昭和45年7月に京都府知事の認可を得て、府内13の母体団体により、公法人として設立され、母体組合を核として同種同業の連帯意識と相互共済の精神に基づき、医療保険制度の発展に貢献をして参りました。しかしながら、本格的な少子高齢化や生産年齢人口の減少が進む中で、国保制度を取り巻く環境は更に厳しさを増しています。高額薬剤の保険適用、疾病構造の変化及び医療技術の高度化等により医療費の増嵩が著しく、医療費の増加に対応出来ない危機的な状況となっています。また、医療費の増加と相俟って、被保険者数の減少や国庫補助金の減額等も年々大きくなってきていることが収入財源の低下に拍車をかけ、更には、後期高齢者の増加による高齢者医療関係の拠出金の増加は、組合財政を大きく圧迫し、財政破綻寸前の状況となっているといえます。将来に亘って、組合財政を中長期的に安定させるためには、第一に単年度赤字を解消し、今後の医療費の増加にも対応出来るような財源確保が必要不可欠となっています。
- 新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日をもって2類から5類に移行されたことは、組合財政に大きな影響を及ぼしています。当国保組合におきましては、国からの要請に基づき、令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る保険料の減免を行いました。当国保組合における令和4年度の保険料減免総額は、約690万円で昨年度より半減いたしました。対象組合員に対しまして保険料減免を実施いたしました。国の方針によりまして、保険料減免については、令和4年度をもって終了することが言明されています。
- 国の方では、昨年度に引き続き子育て世帯の経済的負担の軽減を図る観点から、出産する予定の被保険者又は出産した被保険者について、産前産後期間における保険料軽減を令和6年1月より実施される予定となっています。当国保組合では、組合員やご家族等の健康の保持増進と国庫補助金の増額を目指し、保健事業等の取り組みを強化して参りましたが、今後も、組合員等の方々が高齢になられても、健康でより元気な生活をお過ごしいただけるよう取り組みますので、組合が実施いたします保健事業等への積極的なご参加をお願いいたします。
- 令和4年度の実質収支については、経常収入16億9,105万円から経常支出18億5,243万円を差し引いた▲1億6,137万円の赤字決算となりました。組合全体の決算収支は、経常外収入（財産収入、繰入金、繰越金）1億6,399万円を足した18億5,505万円から支出額18億5,303万円を差し引いた202万



円になりました。歳入の内容としては、保険料収入が8億5,631万円(令和3年度比較5,753万円増)になりました。これは、令和4年度からの保険料改定によるものですが、被保険者数の減少等により、当初見込みよりも大幅に増加額が減っています。最も収入が減額となったのは、国庫支出金の7億8,779万円(前年度比較▲10,397万円減)で前年度より1億円以上の大幅な減額となりました。このような国庫補助金の大幅な減額は、単年度赤字が続いている当国保組合の財政状況にとっては致命的であり、一段と厳しい収入の状況となりました。

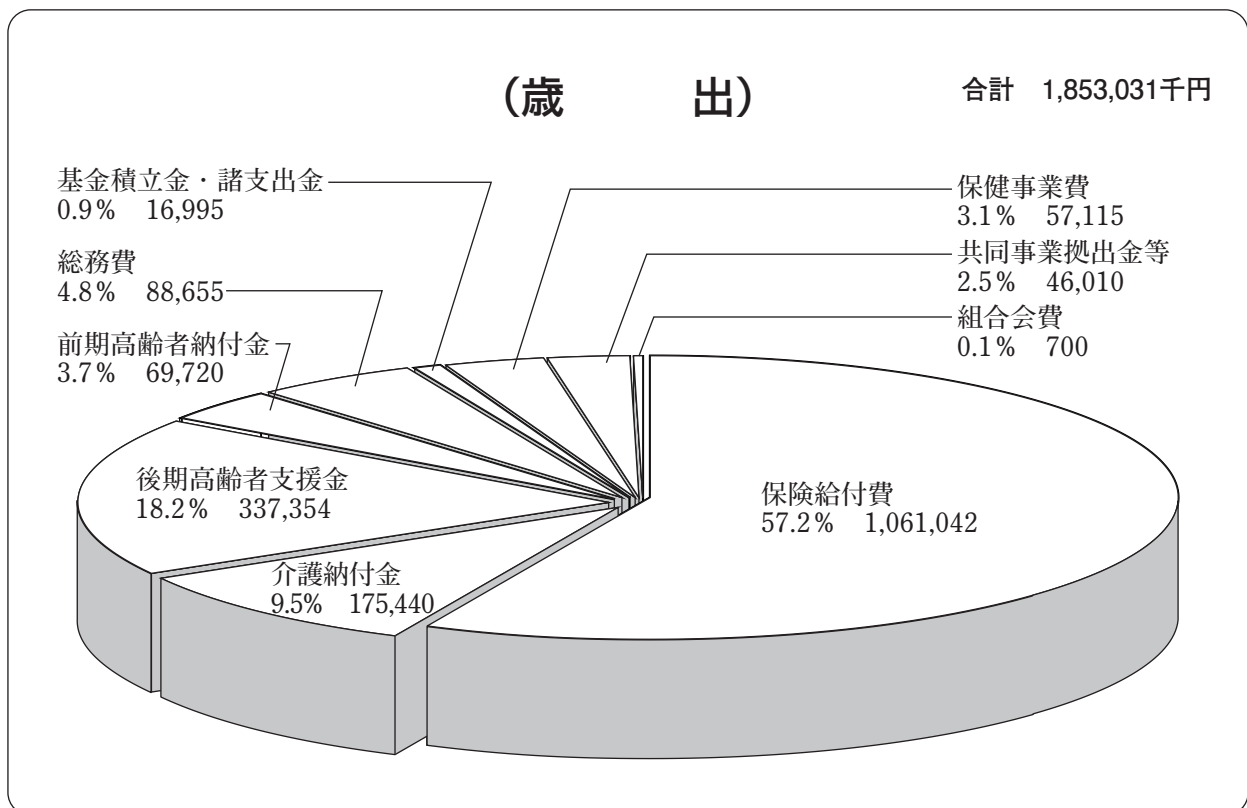
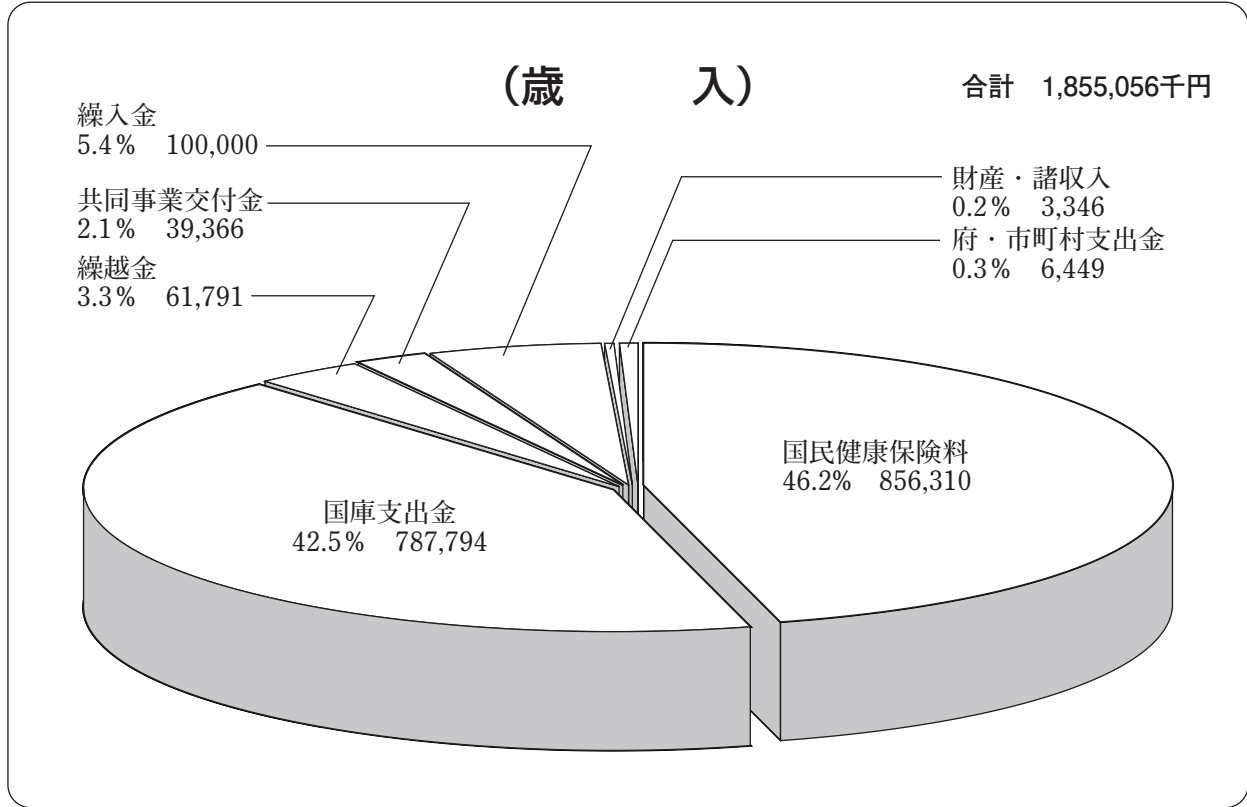
- 歳出の内容としては、保険給付費が10億6,104万円(前年度比較▲5,407万円減)、高齢者医療制度等への負担金は、5億8,251万円(前年度比較▲379万円減)、事務費は、1億574万円(前年度比較▲1,565万円減)となり、経常支出の総額では、18億5,243万円(前年度比較▲7,105万円減)となり、前年度より減額となりましたが、2年前の令和2年度と比較すると、被保険者数が大幅に減少しているにも関わらず、保険給付費で約3,874万円増、高齢者医療制度等への負担金で約1,135万円増と医療費関係が約5千万円増加しています。
- 令和4年度の収支決算額を見ると、国庫補助金の著しい減少により、単年度赤字は依然として解消されず、積立金からの繰入金についても底が付いており、医療費の増加に対しての財源が不足していることは明らかとなりました。現在、当国保組合が債券(地方債)として保有している積立金を仮に売却すれば、大幅な損失が生じることは明らかであり、この損失を何らかの方法を用いて、回避したとしても組合の財政状況を好転させることは非常に難しいため、中長期的に安定的な組合運営をしていくためには、大幅な保険料改定にならざるを得ない深刻な状況となりました。
- このような大変厳しい財政状況となっておりますが、引き続き、将来を見据えた財政基盤の安定化に向けて役職員一同取り組んで参りますので、組合員等の皆様方には、ご理解、ご支援をいただきますようお願いいたします。

■ 令和4年度末 財産目録

名 称	金 額	名 称	金 額		
特別積立金	143,000千円	財政調整積立金	101,200千円		
支払準備積立金	124,000千円	国保組合事務所整備・IT化対応積立金	100,000千円		
職員退職積立金	109,000千円	保健事業積立金	101,000千円	積立金計	678,200千円

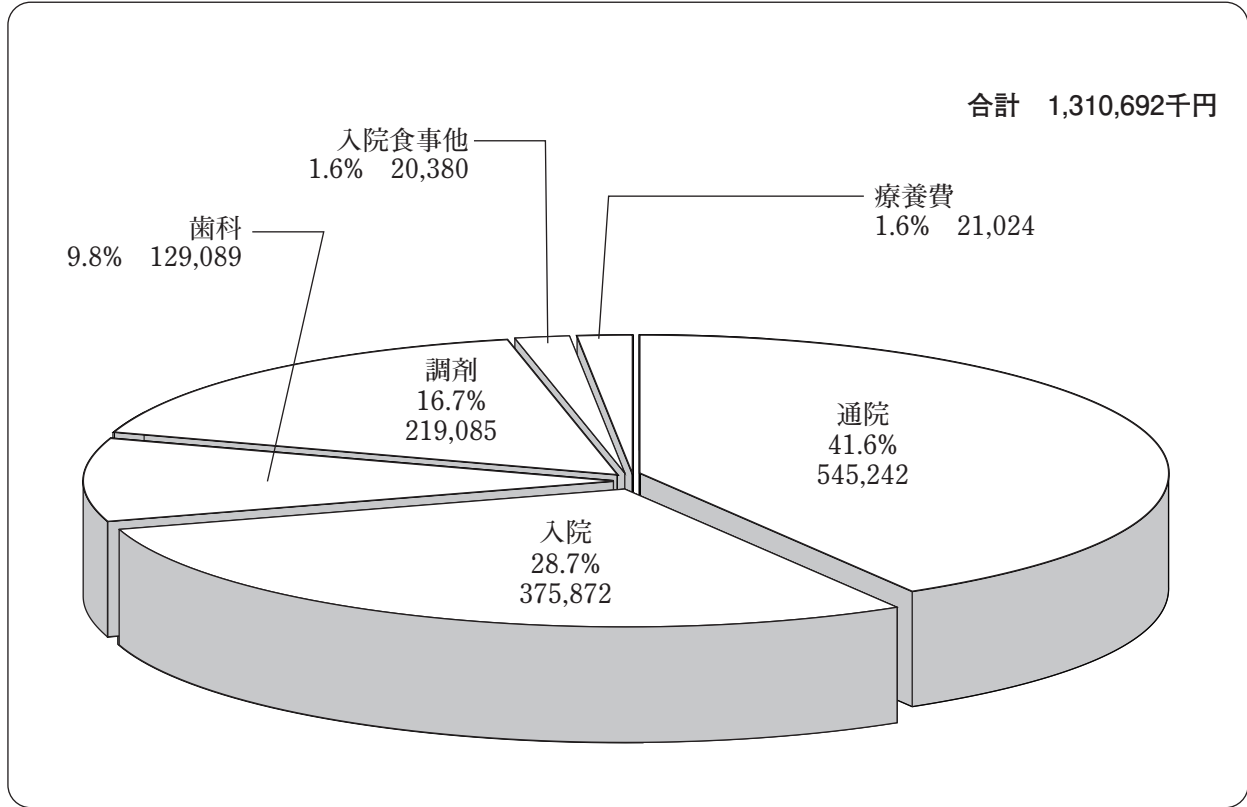
令和4年度歳入歳出決算構成グラフ

単位：千円



令和4年度医療費の構成割合

単位：千円



1人当年間医療費の動向

単位：円
()は前年度比較

